

京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金 令和3年度認定者アンケート結果について

令和4年12月26日
京丹後市教育委員会

京丹後市では、地域産業などの担い手となる若者の人材確保及び定住を応援するため、市内に定住し、かつ就業（市内から通勤圏内含む）する方を対象に、大学等の在学中に借り入れた奨学金の返還を支援する標記補助金制度を令和3年度に創設しました。

この制度は、**京丹後市でがんばる若者に対して、返還した奨学金を年額36万円を上限に、最大10年間支援するものです。**

このたび、初年度となる令和3年度の認定者に対し、補助金交付を行う時期にあわせて、アンケート調査を実施しました。

調査結果については別紙資料のとおりですが、回答された**63.8%の方が「定住するきっかけになった（定住の意思が固まった）」**ことをはじめ、自由記載にあるように、当該制度が**若者の支援、定住に繋がる有益なものであることが伺えます。**

アンケート期間：令和4年10月3日から令和4年10月31日まで
対象者：143名 回収数：127件 回収率88.8%

Q. この補助金が京丹後市に定住するきっかけになりましたか。



また、令和4年度も引き続き認定申請も受付をしております。期限は令和5年2月28日までとなっております。詳しくはホームページをご覧ください。



お問い合わせ
教育委員会事務局教育総務課
電話：0772-69-0610
FAX：0772-68-9061
E-Mail：kyoikusomu@city.kyotango.lg.jp

京丹後市は 市内に定住・就職する方の 奨学金の返還を支援します

頑張る若者に
全国最大級の
支援策を!

10年間で最大360万円の補助

期間中(※)に返還した奨学金の月額3万円
(年額36万円)を限度として補助

※補助金の交付申請年度の前年度の10月1日から1年間

市が奨学金の返還を支援してくれるんだ!

CHECK!

▶ 対象者

大学・大学院・短期大学・高等専門学校(4・5学年に限る)・専修学校(専門または一般過程)を卒業した満30歳未満で、京丹後市に定住し正規雇用などで就業する方

※事前に申請を行い認定を受けること ※10年以上継続して定住すること
※国家・地方公務員を除く

詳しくはコチラ

→ 教育総務課 TEL 0772-69-0610

制度の詳細い内容は
ホームページをご覧ください

京丹後市奨学金返還支援

検索



京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金

補助金に関するアンケート

将来の市の人口減少対策や地方創生の取り組み推進の参考とするため、補助金制度の初年度となる令和3年度の補助金認定者を対象として、アンケート調査を行いました。その中から、主な結果をご紹介します。

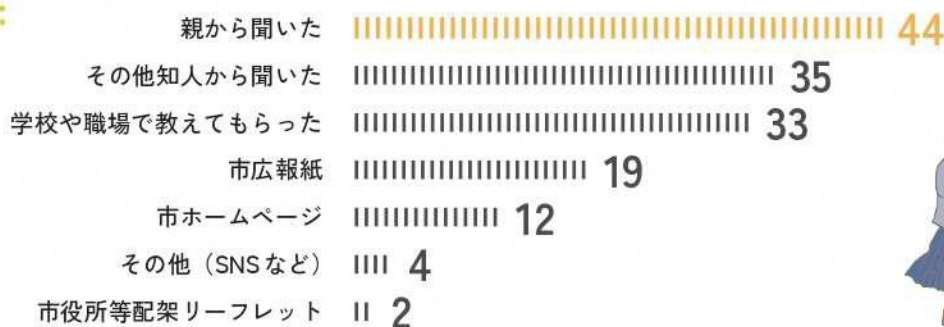


◀アンケートの
全問はコチラ

アンケート対象者数(配布) / 143件 回収数 / 127件 回収率 / 88.8%

Q

この補助金をどのようにしてお知りになりましたか? (複数回答)



Q

以前から京丹後市にお住まいでしたか。



※ グラフの数値は %

- 107 件 大学等に通うため市外に住んでいたが京丹後に戻ってきた
- 12 件 京丹後市外から転入(移住)してきた
- 7 件 その他
- 1 件 無回答



Q

この補助金が京丹後市に定住するきっかけになりましたか。



※ グラフの数値は全て %

- 6 件 補助金が大きなきっかけとなり定住することにした
- 22 件 定住は検討していたが、補助金もきっかけの1つとなった
- 53 件 定住するつもりだった(またはすでに定住していた)が、補助金があり定住を続ける意思が固まった
- 46 件 この補助金が定住のきっかけにはなっていない



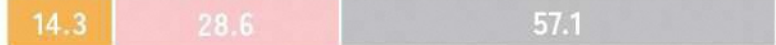
大学等に通うために市外に住んでいたが京丹後に戻ってきた(Uターン)



京丹後市外から転入(移住)してきた(I・Jターン)



その他



無回答



Q

この補助金の魅力はなんですか。

※ 回答は2つまで

※ 就業の後押しは、「地元の～」と「新たな居住地の～」の合計数



Q

この補助金制度を、友人知人に紹介したいですか。

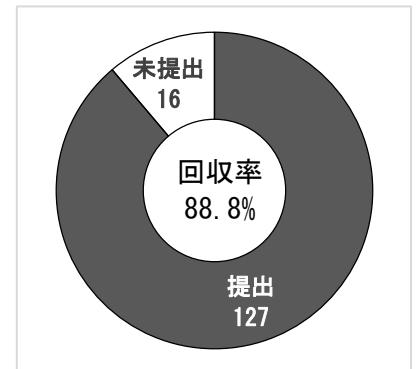
※ グラフの数値は %



- 105 件 そう思う
- 15 件 どちらともいえない
- 7 件 無回答
- 0 件 思わない

令和4年度実施 京丹後市定住促進奨学金 返還支援補助金に関するアンケート 集計結果

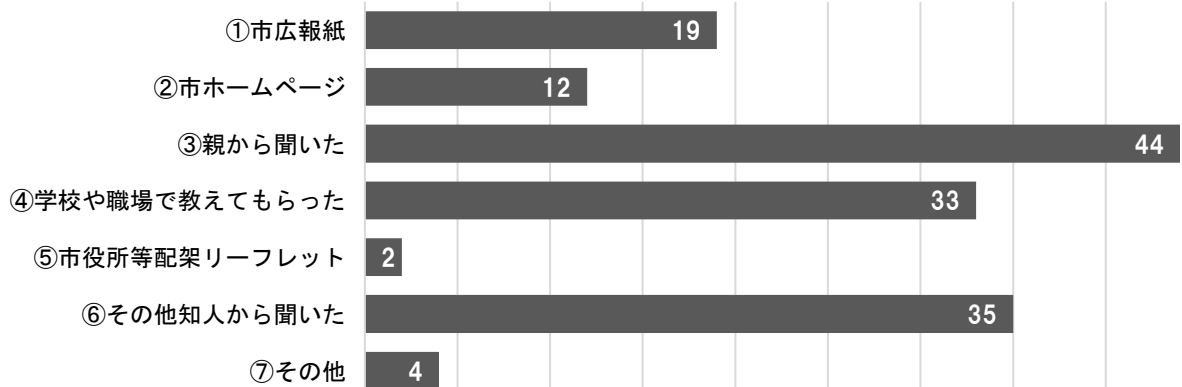
アンケート対象者数 (配布数)	回収数	回収率
143件	127件	88.8%



問1 この補助金をどのようにしてお知りになりましたか。
(複数回答)

回答	割合	(参考)件数
①市広報紙	12.8%	19
②市ホームページ	8.1%	12
③親から聞いた	29.5%	44
④学校や職場で教えてもらった	22.1%	33
⑤市役所等配架リーフレット	1.3%	2
⑥その他知人から聞いた	23.5%	35
⑦その他	2.7%	4
計	100.0%	149

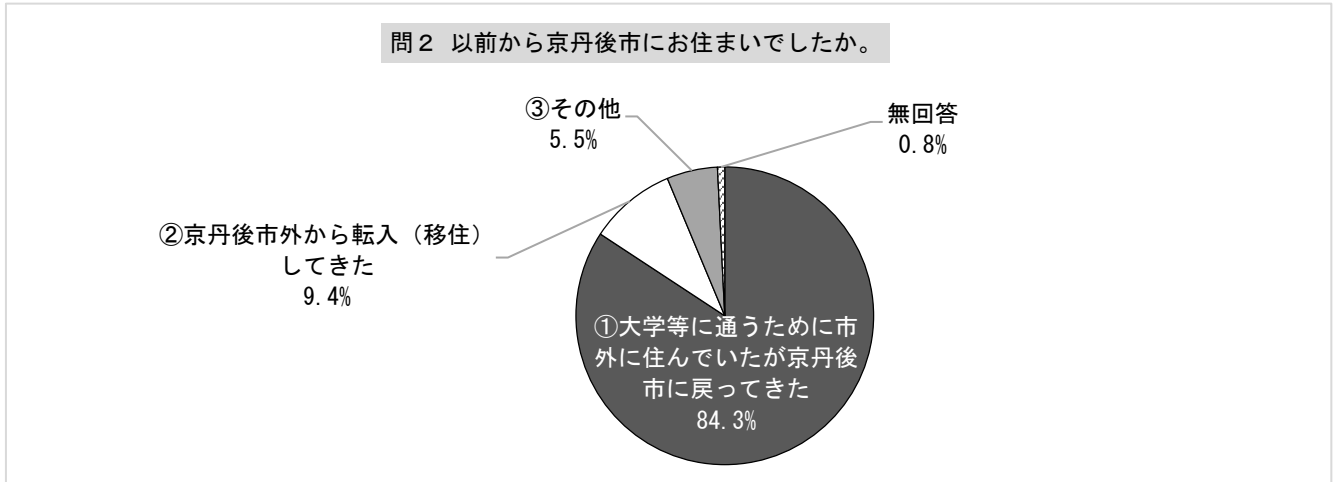
問1 この補助金をどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答)



「親から聞いた」が最も多く(44件)、「その他知人から聞いた」(35件)、「学校や職場で教えてもらった」(33件)を含めると、約75%が人伝えに広まったという結果となりました。

問2 以前から京丹後市にお住まいでしたか。

回答	件数	割合
①大学等に通うために市外に住んでいたが京丹後市に戻ってきた	107	84.3%
②京丹後市外から転入（移住）してきた	12	9.4%
③その他	7	5.5%
無回答	1	0.8%
計	127	100.0%



「大学等に通うために市外に住んでいたが京丹後市に戻ってきた」107件、「京丹後市外から転入（移住）してきた」12件と、約85%が京丹後市出身、約10%が京丹後市外の出身という結果となりました。

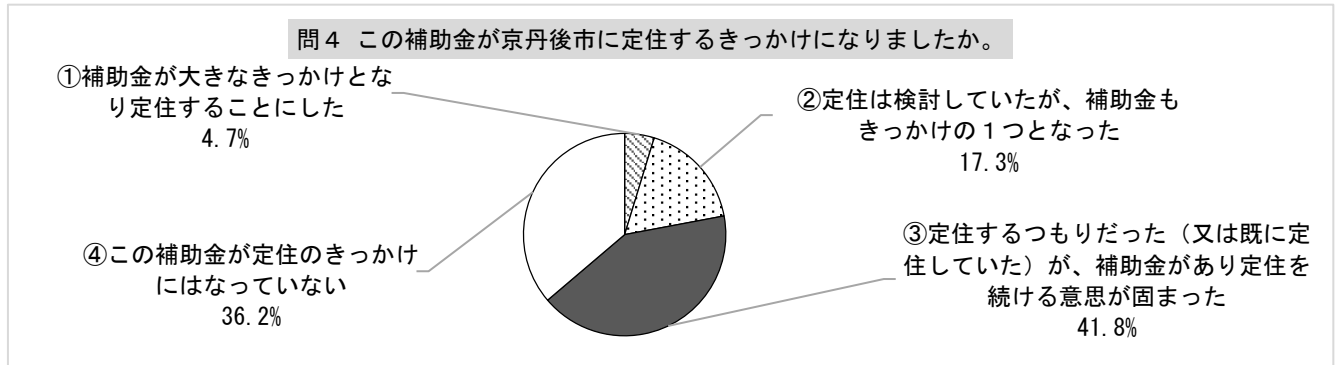
問3 転入直前の居住地を教えてください。（I・Jターン該当者）

（問2で②と答えたかた）

回答	件数	割合
栃木県足利市	1	8.3%
埼玉県新庄市	1	8.3%
滋賀県高島市	1	8.3%
京都府与謝郡与謝野町	1	8.3%
京都府京都市	2	17.0%
大阪府枚方市	1	8.3%
兵庫県豊岡市	1	8.3%
兵庫県西宮市	1	8.3%
兵庫県尼崎市	1	8.3%
奈良県大和高田市	1	8.3%
長崎県南島原市	1	8.3%
計	12	100.0%

問4 この補助金が京丹後市に定住するきっかけになりましたか。

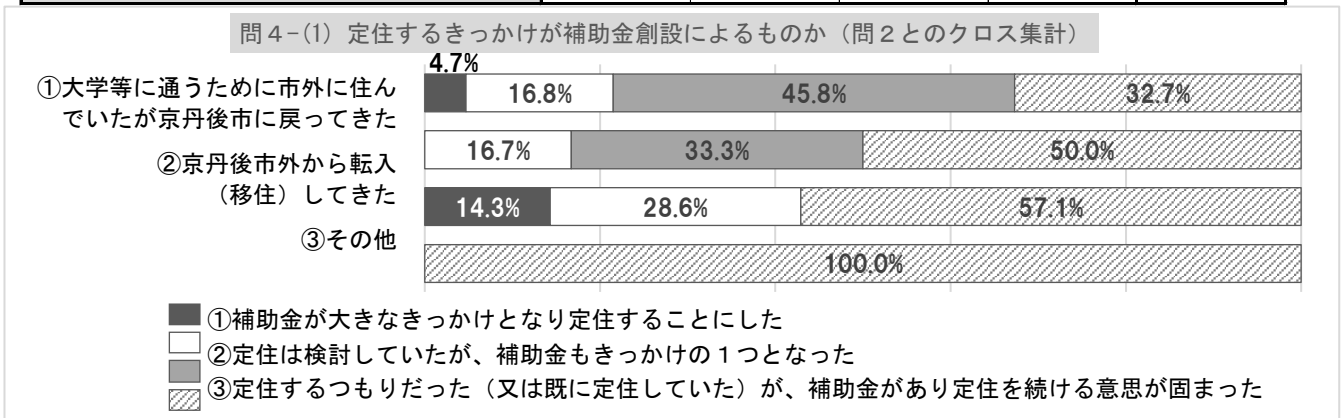
回答	件数	割合
①補助金が大きなきっかけとなり定住することにした	6	4.7%
②定住は検討していたが、補助金もきっかけの1つとなった	22	17.3%
③定住するつもりだった（又は既に定住していた）が、補助金があり定住を続ける意思が固まった	53	41.8%
④この補助金が定住のきっかけにはなっていない	46	36.2%
計	127	100.0%



「補助金が大きなきっかけとなり定住することにした」（6件）という結果ですが、「定住は検討していたが、補助金もきっかけの1つとなった」（22件）「定住するつもりだった（又は既に定住していた）が、補助金があり定住を続ける意思が固まった」（53件）を合わせると、約64%が定住するきっかけになったという結果となりました。

問4-(1) 定住するきっかけが補助金創設によるものか（問2とのクロス集計）

	①補助金が大きなきっかけとなり定住することにした	②定住は検討していたが、補助金もきっかけの1つとなった	③定住するつもりだった（又は既に定住していた）が、補助金があり定住を続ける意思が固まった	④この補助金が定住のきっかけにはなっていない	計
①大学等に通うために市外に住んでいたが京丹後市に戻ってきた（Uターン）	5	18	49	35	107
②京丹後市外から転入（移住）してきた（I・Jターン）	0	2	4	6	12
③その他	1	2	0	4	7
無回答	0	0	0	1	1
計	6	22	53	46	127



問5 この補助金以外で京丹後市に定住するきっかけとなった理由を教えてください。

(複数回答)

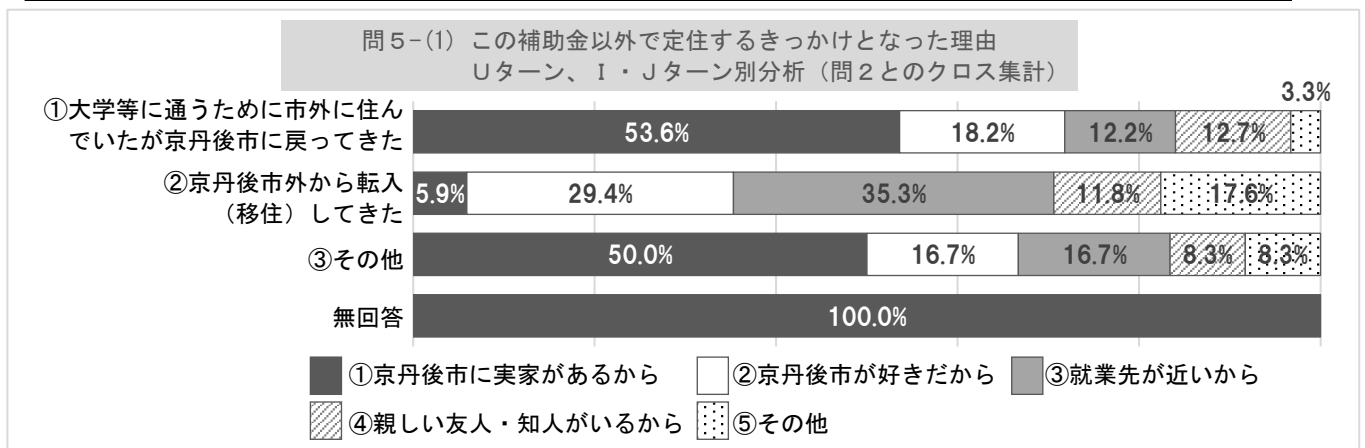
回答	割合	(参考) 件数
①京丹後市に実家があるから	49.8%	105
②京丹後市が好きだから	19.0%	40
③就業先が近いから	14.2%	30
④親しい友人・知人がいるから	12.3%	26
⑤その他	4.7%	10
計	100.0%	211

「京丹後市に実家があるから」が最も多く（105件）、次いで「京丹後市が好きだから」（40件）、「就業先が近いから」（30件）という結果となりました。

問5-(1) この補助金以外で定住するきっかけとなった理由

Uターン、I・Jターン別分析（問2とのクロス集計）

	①京丹後市に実家があるから	②京丹後市が好きだから	③就業先が近いから	④親しい友人・知人がいるから	⑤その他	(参考) 計
①大学等に通うために市外に住んでいたが京丹後市に戻ってきた（Uターン）	97	33	22	23	6	181
②京丹後市外から転入（移住）してきた（I・Jターン）	1	5	6	2	3	17
③その他	6	2	2	1	1	12
無回答	1	0	0	0	0	1
(参考)計	105	40	30	26	10	211

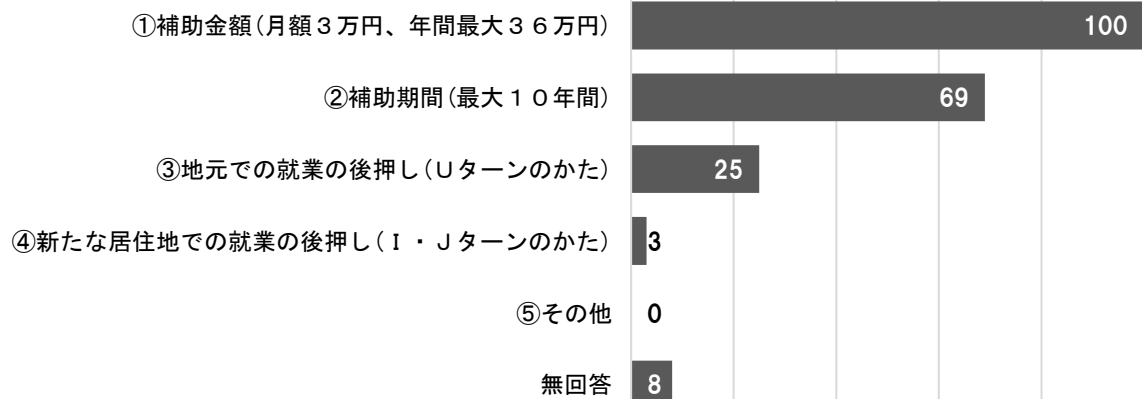


問6 この補助金の魅力はなんですか。

(2つまで)

回答	件数	割合
①補助金額(月額3万円、年間最大36万円)	100	48.7%
②補助期間(最大10年間)	69	33.7%
③地元での就業の後押し(Uターンのかた)	25	12.2%
④新たな居住地での就業の後押し(I・Jターンのかた)	3	1.5%
⑤その他	0	0.0%
無回答	8	3.9%
計	205	100.0%

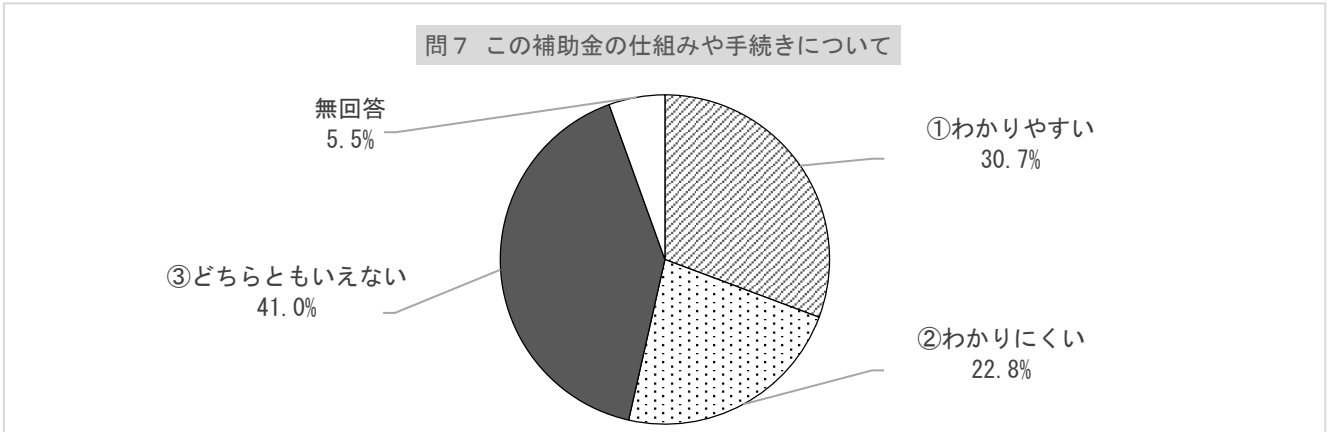
問6 この補助金の魅力はなんですか。(2つまで)



「補助金額(月額3万円、年間最大36万円)」が最も多く(100件)、次いで「補助期間(最大10年間)」(69件)、「地元での就業の後押し」(25件)となり、補助内容が魅力と感じるかたが多い結果となりました。

問7 この補助金制度の仕組みや手続きについて

回答	件数	割合
①わかりやすい	39	30.7%
②わかりにくい	29	22.8%
③どちらともいえない	52	41.0%
無回答	7	5.5%
計	127	100.0%



「どちらともいえない」が最も多く（52件）、次いで「わかりやすい」（39件）、「わかりにくい」（29件）という結果となりました。

問8 具体的にどのようなところがわかりにくいですか。（問7で②わかりにくいと答えたかた）

(1) 仕組みについて（複数回答）

回答	割合	(参考) 件数
①補助対象者について	2.9%	1
②補助金額について	17.6%	6
③補助期間について	14.7%	5
④申請時期	44.2%	15
⑤その他	8.8%	3
無回答	11.8%	4
計	100.0%	34

問8 具体的にどのようなところがわかりにくいですか。（1）仕組みについて

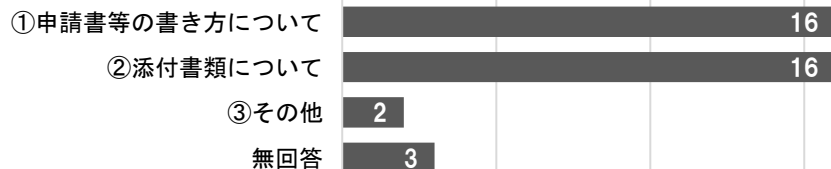


「申請時期」が最も多く（15件）、次いで「補助金額について」（6件）、「補助期間について」（5件）という結果となりました。

(2) 手続きについて（複数回答）

回答	割合	(参考) 件数
①申請書等の書き方について	43.2%	16
②添付書類について	43.2%	16
③その他	5.4%	2
無回答	8.2%	3
計	100.0%	37

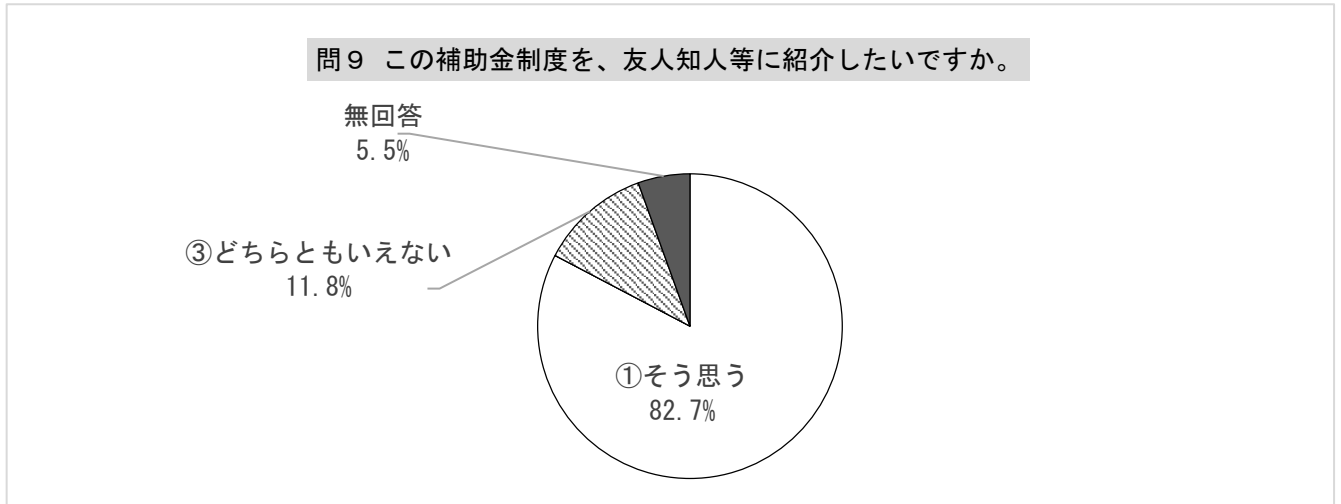
問8 具体的にどのようなところがわかりにくいですか。（2）手続きについて



「申請書等の書き方について」「添付書類について」がそれぞれ16件という結果となりました。

問9 この補助金制度を、友人知人等に紹介したいですか。

回答	件数	割合
①そう思う	105	82.7%
②思わない	0	0.0%
③どちらともいえない	15	11.8%
無回答	7	5.5%
計	127	100.0%



「そう思う」（105件）が最も多く、次いで「どちらともいえない」（15件）、「思わない」（0件）と、80%以上が人に紹介したいと思うという結果となりました。

問10 この補助金制度についてご意見があればご記入ください。

回答（自由記入欄）	
1	ひとり親家庭で育ち、姉も4年大学、自身も短大と、地方出身者は2倍のお金を準備してもらいました。こういった制度は、ひとり親家庭にはとっても有難い制度だと思います。親の負担も軽減すると思います。地元に戻って仕事がしたいと思っていた自身には丹後に戻る後押しになりました。
2	お世話になっております。学生の頃に借りた奨学金の負担はやはり大きく、約20年近くかけて返していかないといけないため、精神的にも負担がかかっていました。そうした時に、このような補助金制度を設けていただいて本当に感謝の気持ちでいっぱいですし、“京丹後市に移住してきて良かった”と思いました。この制度を行っている自治体はまで少ない中で、率先してやっていただき本当にありがとうございます。たくさんのお手続きがあり大変かとは思いますが…今後もよろしくお願いいたします。
3	定住のきっかけや奨学金返還の負担軽減になると思うので、市外から移住してくる人のためにも、このような補助金制度は今後ともぜひ続けて欲しいと思います。
4	本当にありがたい制度だと思います。丹後に帰ってきて良かったと思いました。
5	とてもありがたい制度だと思います。京丹後市に帰ってきて良かったと思う理由の1つになりました。ありがとうございます。
6	この先ずっと京丹後市に住み続けようと思っているので、ここを選んで良かったと思いました。とてもありがたい制度です。知り合いの大学生（実家が京丹後市）にもすすめました。
7	申請など書類を書く時に書き方などの例があってわかりやすいと思いました。
8	奨学金の返済について困っている若い人はとても助かる制度だと思います。ただ、補助される金額が大きい分仕方ないかなとは思いますが、申請について期間が空くので大変かなと感じました。
9	どうしても、働く場所が無かったり、ジャンルが絞られるイメージから、IターンやUターンを考える子が少ない中、この様な補助金があるのは、京丹後市の未来に大きな力があると思います。丹後在住でも、職場が福知山だったり舞鶴で働いている子もいるので、もう少し幅を広げてみて良いのではないかと思います。
10	すごくありがたい制度ですが、10年以上の定住がもう少し短い方が良いなと思った。
11	補助金の制度はとてもありがたい。しかし、満30歳未満で、最大10年間の補助となると、4年制大学や大学院に通って学費の負担が大きい方が、この制度を利用する場合、実際は、短期大学や専門学校の方と比べ、補助期間が実質5～7年程度になってしまうと思われるため、満30歳未満という対象の条件があるのは、少し残念に感じる。
12	若い世代を対象とした京丹後市での定住・就業促進を目的とするこの補助金制度は非常にありがたい。ただ、対象者の年齢制限がもう少し緩くてもいいのではないかと感じました。
13	市役所職員が対象にならないのがなぜかわからない。
14	最大3万と書いてあったので返還額を繰り上げたのですが、一番初めの申請額しか出ないと伺って残念でした。一番初めの要綱にきちんと書いておいて欲しかったです。繰り上げた分も補助してもらいたいです。奨学金の返済がすごく大変なので、とても助かっています。
15	ありがたいです。ぜひ満期まで継続していただきたいです。1点意見させていただくなら、登録できるのが～30歳ではなく、もっと幅広い方に対象となるような仕組みだとよりうれしいと考えました。年齢を広くすることで、Uターン希望者も増やすことができるのでは？と思ったのが理由です。今後ともよろしくお願いいたします。
16	とても良い制度で大変感謝し、助かっています。この制度で若者が集まり、活気のある京丹後市になると思います。しかし、残念なのが対象者の狭さです。公務員が対象外なのと、住まいは京丹後市で働き先はちょっと先の豊岡だと対象外で、僕の友人は誰も受け取れませんでした。その友人からこの制度を教えてもらったので、何とも言えない気持ちになりました。予算の関係もあるかと思いますが、補助期間を5年に短くして京丹後市在住で奨学金を受け取った20代の方が対象と枠を大きくすると割と効果はやすいかなと思いました。

回答（自由記入欄）

17	申請書類提出が期間の短さで出来なくなる人が出るような気がします。もう少し期間を延ばすか、何回かに分ければもっと使える人が多くなり業務をする人が楽ではないでしょうか。それでもとても良い制度だと思います。
18	この制度が今年からというのもあり、分からないところなどがたくさんある中で、担当課へ連絡し問い合わせるもあいまいな反応で本当にこれかと思っているのかと不安になりました（書き方について）。制度自体はとてもありがたく助かります。京丹後市へ帰ってきてよかったとも思えます。この制度をきっかけに京丹後市へ帰ってくる人が増えると嬉しです。
19	市広報紙の一部を見ていなければ気がつかなかったため、もっといろいろな方法で広告をしてもよいと感じた。
20	社内で結婚する場合、店の異動があったりします。住んでいるのが京丹後市だと大丈夫なのか、仕事も京丹後市でないのだめなのか少しわかりづらかった。
21	30歳以上もして良いかと思えます。
22	今現状で返還を減額返還制度にしています。通常の返還だと生活が少し苦しくなるので。この補助金制度は、前年度返還した分を次年度分として補助がいただけますが、通常の返還額をいただければ減額制度を使わずに返還が出来るので、そこの所も検討、対応していただければ幸いです。
23	奨学金返済の中には年払いしか該当しないものがあり、月額の上限に余裕があっても対象にならないのが残念です。せっかくの補助金制度なので少しでも対象になる様にして欲しい（年額払いを月で平均した分を月額対象にしてもらいたい）
24	申請書類をもっと簡素化してほしい。特に各種証明書関係を少なくしてほしい。
25	もう少し集める書類等を1度にして欲しいと思った。
26	請求期日にもう少し余裕があっても良いのではないかと？提出する書類を集めるのが大変。
27	申請書類の提出が多いと感じる。
28	通帳の口座確認は、コピーでなく金融機関の証明印でもいいかと思えます。通帳レスの方はそもそも通帳を持っていませんので。
29	細かいところまでの記入、提出がある割に、分からないところを職員に聞いても、たらい回しにされた挙げ句、曖昧な返答。この制度に期待している人は多いと思うので、担当する職員の方は記入用紙にある内容は何を聞かれても分かるようにしておいてほしいです。
30	2年目以降の手続きが簡素化されればと思います。また、公簿等で確認できる書類については、省略して閲覧の同意で対応していただけたらと思いました。
31	申請手続きを終えたと思ったが、今回、再度住民票の写しであったり、在職証明など、前回提出した書類をまた準備しないといけないのかと思ってけっこう大変でした。手続きがもっと簡単にスムーズにできればもっと良いのにと思いました。マイナンバーカードとかでもっとスムーズにできたりしたらうれしいです。
32	スマホで申請できるようにしてほしい。マイナンバーカードなどと連携できないのか。
33	オンラインで申請できるようになってほしい。

問6 この補助金の魅力はなんですか。
あてはまるものに○をつけてください。(2つまで)

- ①補助金額(月額3万円、年間最大36万円)
- ②補助期間(最大10年間)
- ③地元での就業の後押し(Uターンのかた)
- ④新たな居住地での就業の後押し(I・Jターンのかた)
- ⑤その他(具体的に)

問7 この補助金制度の仕組みや手続きについて
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ①わかりやすい
- ②わかりにくい
- ③どちらともいえない

問8 問7で②わかりにくいと答えたかたにお伺いします。
具体的にどのようなところがわかりにくいですか。

(1) 仕組みについて

- ①補助対象者について
- ②補助金額について
- ③補助期間について
- ④申請時期
- ⑤その他(具体的に)

(2) 手続きについて

- ①申請書等の書き方について
- ②添付書類について
- ③その他(具体的に)

問9 この補助金制度を、友人知人等に紹介したいですか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ①そう思う
- ②思わない
- ③どちらともいえない

問10 この補助金制度についてご意見があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。



京丹後市に 定住し、かつ就業する方の 奨学金の返還を 支援します！

京丹後でがんばる若者を
どこにも負けない
最大級の支援策
で心を込めてお支えさせ
ていただきます！

最大10年間で360万円 補助

期間中に返還した奨学金の月額3万円（年額36万円）を限度とします。

※期間中とは補助金の交付を申請する年度の前年度の10月1日から起算した1年間

京丹後市では、地域産業などの担い手となる若者の人材確保及び定住を応援するため、市内に定住し、かつ就業する方を対象に、大学等の在学中に借り入れた奨学金の返還相当額について補助します。

■対象者

大学、大学院、短期大学、高等専門学校（第4学年又は第5学年に限る）、専修学校（専門課程又は一般課程）を卒業した満30歳未満の方で、京丹後市に継続して10年以上定住し、かつ正規雇用等により就業する方。

（ただし、国家公務員又は地方公務員は除く。）

※対象者として事前に認定を受ける必要があります。（詳しくは、募集要項をご覧ください。）

■対象奨学金

- ①日本学生支援機構 第一種・第二種奨学金
- ②京丹後市奨学金条例に基づく貸付奨学金
- ③国又は地方公共団体の奨学金
- ④大学等独自の奨学金

※申請者本人が貸付を受けた奨学金が対象となります。

■手続きの流れ

募集要項により奨学金返還支援認定申請書に必要書類を添付し申請

認定申請

審査・認定

認定届出

交付申請兼請求

交付決定・補助金交付

詳しくは裏面へ！

制度に関するお問い合わせ先



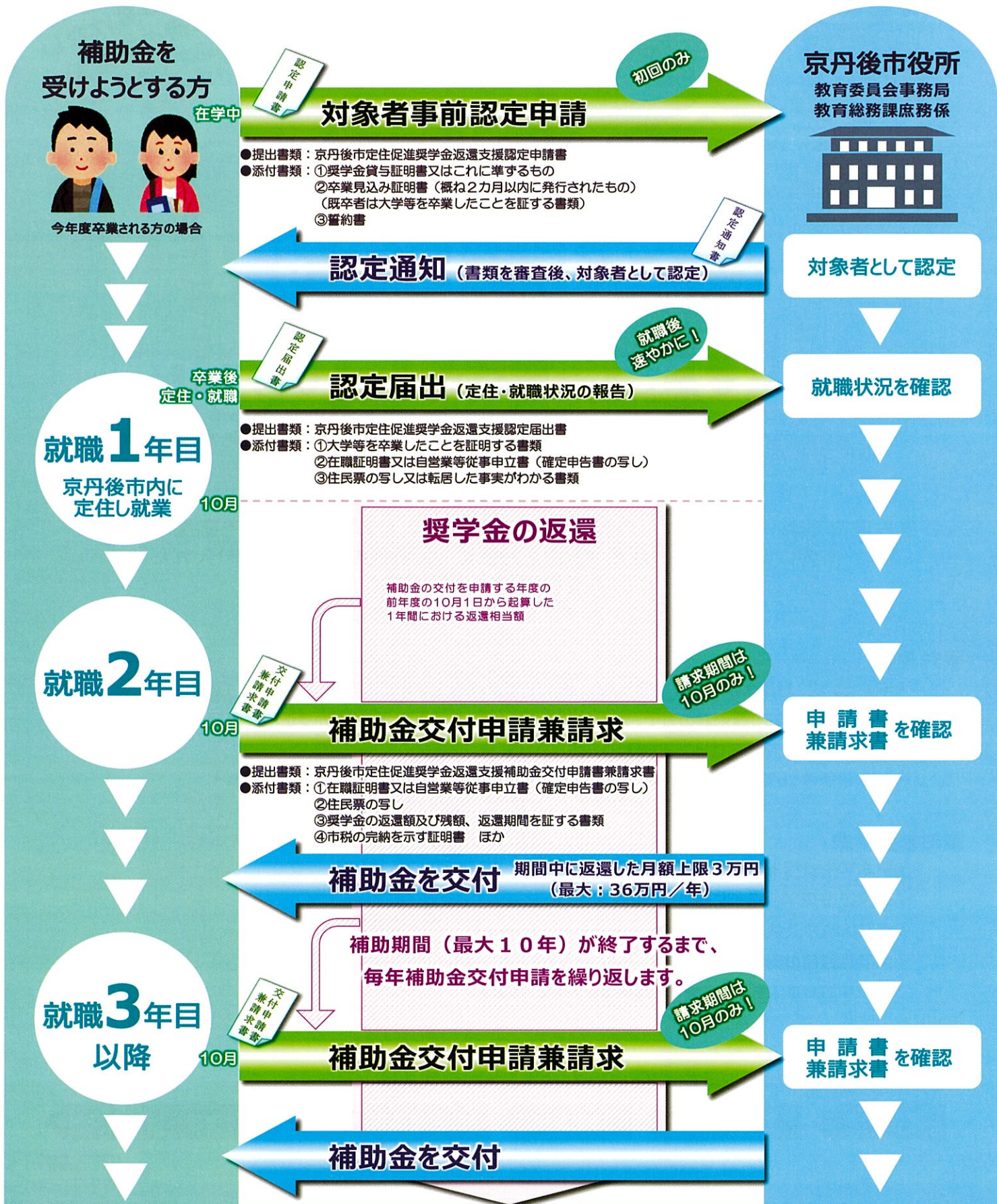
京丹後市 教育委員会事務局 教育総務課 〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226

TEL：(0772)69-0610 FAX：(0772)68-9061 Email：kyoikusomu@city.kyotango.lg.jp

京丹後市教育委員会のHPには制度の詳細い内容や、他の支援制度等を掲載しています。詳しくは右QRコードから教育総務課の修学支援関係のページをご覧ください。



認定申請から補助金交付までの流れ



制度に関するお問い合わせ先



京丹後市 教育委員会事務局 教育総務課 〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226
 TEL：(0772)69-0610 FAX：(0772)68-9061 Email：kyoikusomu@city.kyotango.lg.jp



京丹後市教育委員会のHPには制度の詳細な内容や、他の支援制度等を掲載しています。詳しくは右QRコードから教育総務課の修学支援関係のページをご覧ください。